山形県の古木・名木 No.43

霞城公園のサイカチ（かじょうこうえんのさいかち）

山形市霞城町１

（案内略図）

最上義光五十七万石の居城だった城址二の丸濠の土手には、古木も多く、その全体が山形市の保存樹林に指定されている。山形市の巨木ベスト20のうち五本は当樹林にあり、このサイカチはそのなかの一樹。

サイカチは河原など水辺の原野に多いマメ科の落葉高木で、幹には枝の変化した奇妙なトゲがある。長さ20～25㎝、幅３㎝内外、平たい三日月形の、うちには扁平な種子を持つ実をつける。

これは、樹高15m、目通り幹周６mの、サイカチとしては迫力のある巨木。樹齢は不明であるが、つい最近のこととしては、戊辰戦争に否応なく巻き込まれざるを得なかった山形水野藩のその光芒と陰影をまのあたりにしていることだけは確かである。〔山形県みどり推進機構〕

【森林やまがた67号（2002年10月）記載】